

## 学科問題

問1 医療事務担当者としての要件には、いろいろの条件が考えられますが、下記各項のなかで、医療従事者の義務として規定されている最も重要なものを1つ選びなさい。

- A. 上書き事項は、保険証—カルテ—診療報酬明細書と転記するが、記載誤りが多く返戻率がかなり高いのが現実である。特に管掌別、記号の構成などの学習をし、誤りのないよう心がけなければならない。
- B. 質の高いサービスの提供ができるよう、心を込めた応対など、接遇の基本を心がけなければならない。
- C. 臨床検査は現代医学と共に複雑になりつつあるが、的確な内容点検ができるように、診療内容を熟知しなければならない。
- D. 業務に従事して得られた「診療上の秘密」を他に漏らさないこと。
- E. 医療機関内の人々との協調がよく出来、円滑な人間関係をもつことができること。

問2 次の各項の説明のうち正しいものの組み合わせを下記より選びなさい。

- (1) 保険外併用療養費には評価療養、患者申出療養及び選定療養が厚生労働大臣により定められている。
- (2) 後期高齢者医療の患者が生活保護による公費の適用を受けた場合は医療費の全額を公費が負担する。
- (3) 精神保健福祉法による公費負担医療は、入院及び外来の精神障害者が対象である。
- (4) 組保管掌健康保険加入の会社員が工場内で作業中に負傷したのであれば治療に係る費用は医療保険が適用となる。
- (5) 保険医療機関が長期高額療養費の対象となる患者を診療する場合、「特定疾病療養受療証」の提示を受けなければならない。

- A. (1), (3)      B. (2), (4)      C. (1), (2), (5)      D. (3), (4), (5)      E. (1)~(5)すべて

問3 次のI群の各番号に関連するものをII群より選びなさい。(重複可)

※年齢表示のないものについては65歳未満とする。

- | (I 群)               | (II 群)          |
|---------------------|-----------------|
| (1) 3 1 1 3 1 8 4 0 | A. 従業員70名の工務店社長 |
| (2) 1 1 0 1 0 1 8 8 | B. 受給者証のある難病患者  |
| (3) 0 1 2 0 0 0 1 3 | C. 自衛官の中学生の子供   |
| (4) 5 4 1 1 6 0 2 5 | D. 農家の夫婦        |
| (5) 0 7 1 2 4 1     | E. 入院措置の結核患者    |

問4 次のI群の傷病名に関連する医学管理等(算定の詳細は考慮外)をII群より選びなさい。(重複可)

- | (I 群)          | (II 群)              |
|----------------|---------------------|
| (1) 帯状疱疹       | A. 生活習慣病管理料         |
| (2) 脂質異常症      | B. 慢性疼痛疾患管理料        |
| (3) 皮膚筋炎/多発性筋炎 | C. 外来緩和ケア管理料        |
| (4) 高血圧症       | D. 皮膚科特定疾患指導管理料(II) |
| (5) 乳癌         | E. 難病外来指導管理料        |

問5 次の各項は150床の病院で再診時に行われた診療行為である。再診料に外来管理加算が算定できるものにはAを、算定できないものにはBを選びなさい。

- (1) ヒステロスコーピー + 細胞診 + 卵管内薬液注入法
- (2) 筋肉内注射 + 細菌顕微鏡検査 + 残尿測定検査
- (3) 胸部デジタルX-P + 喘息運動負荷試験 + 投薬
- (4) 心電図12誘導 + 呼吸心拍監視 + DIV
- (5) 胸部CT撮影 + 人工腎臓 + 院外処方箋

問6 次の各項の説明のうち正しいものの組み合わせを下記より選びなさい。

- (1) 診療所で在宅寝たきり患者処置指導管理料を算定している在宅療養の患者に行った膀胱洗浄は算定できない。
- (2) パーキンソン病患者が対象となるリハビリテーションは運動器リハビリテーション料である。
- (3) 病院(100床)で不整脈の初診患者に内服薬14日分を投与し処方管理を行った場合、処方料に特定疾患処方管理加算18点を算定できる。
- (4) 右変形性膝関節症の患者に貯留液の穿刺を行った後に治療のため薬液注入を行った場合、関節穿刺と関節腔内注射の所定点数を算定する。
- (5) 経口造影剤を投与してMRI撮影を行った場合、撮影料に造影剤使用加算を算定する。

- A. (1), (3)      B. (2), (4)      C. (1), (2), (5)      D. (3), (4), (5)      E. (1)~(5)すべて

# 実技問題 No.1

## 【レセプト点検問題】

患者の令和2年7月分のレセプト点検を行い、上書き部分及び各項目の算定内容より診療の流れを読み取り疑問等を検討して、誤・不備のある箇所を解答用紙にある記号に○をつけ、その理由を簡潔に記入しなさい。

レセプトに記号のない箇所については考慮外とし、記号のある箇所のみ検討範囲として解答しなさい。

- 理由が簡潔に 何の→
 

算定は出来ない。	(算定もれ・誤りについては正しい点数/回数をかならず記入)等記載すること。
算定(又は記入)もれ。	
▲点(又は回)は誤りで●点(又は回)が正しい。	
◆回はありません。	

- 1つの記号内に複数の誤りがある場合も理由は同様に続けて記載すること。
- 記号内各項目の点数・回数等の訂正により、関連して変更となる合計点数(記号のない箇所含む)等は訂正する必要はありません。

## 【患者情報と診療状況】

### 患者被保険者証

健康保険被保険者証	家族(被扶養者)	平成29年10月1日交付
記号	16767122	番号 7617
氏名	オオカド ナオミ 大門 直美	性別 女
生年月日	昭和28年2月3日	
認定年月日	平成29年10月1日	
被保険者氏名	大門 洋平	
本人資格取得日	平成2年4月1日	
事業所名称	〇〇〇株式会社	印
保険者所在地	埼玉県〇〇〇〇〇〇〇〇	
保険者番号	01110014	
保険者名称	全国健康保険協会埼玉支部	

### 保険医療機関

病院一般病床のみ(60床) 薬剤師常勤

※設定条件等を確認の上、レセプトを点検すること。

(施設基準等により加算が設定になるものは、その旨の指示がある場合以外該当しない)

※レセプト内算定項目に厚生労働大臣が定める基準又は施設基準届け出等があるものについては、要件は満たしているものとする。

7月の診療日 内科：7月10日(金)

整形外科：7月21日(火)18:50、7月25日(土)

## 診療報酬明細書 A

(医科入院外)

令和 2年 7月分

1 医科	①社・国 2 公費	3 後期 4 退職	①単 2 併 3 併	2 本外 4 六外 6 家外	8 高外 0 高外7
------	--------------	--------------	------------------	----------------------	---------------

公費負担番号①	公費負担番号②	公費負担番号③	公費負担番号④	公費負担番号⑤	公費負担番号⑥	公費負担番号⑦	公費負担番号⑧	公費負担番号⑨	公費負担番号⑩

保険者番号	01110014	10798
被保険者証・被保険者手帳等の記号・番号	16767122・7617	

C

氏名	大門 直美	特記事項	
1男(2女)1明2大(3聴)4平5令	28・3・2生		
職務上の事由	1職務上 2下船後3月以内 3通勤災害		

保険医療機関の所在地及び名称	省略
( 60 床)	

傷病名	(1)骨粗鬆症 (2)貧血症 (3)左変形性膝関節症 (4)右足関節捻挫、左膝・下腿打撲	診療開始日	(1)平成30年11月20日 (2)平成30年11月20日 (3)令和2年3月5日 (4)令和2年7月21日	転治ゆ	死亡	中止	診療日数	3日	保険公費①公費②
-----	---	-------	---	-----	----	----	------	----	----------

E

11 初診	時間外・休日・深夜	回数	点	公費分点数
再診	73 ×	3 回	219	
12 外来管理加算	×	回		
再診	時間外 65 ×	1 回	65	
診	休日 ×	回		
深	夜 ×	回		

13 医学管理	173
---------	-----

14 在宅	往診 回数 深夜・緊急 回数 在宅患者訪問診療 回数 その他 回数 薬剤
-------	--

F

20 投薬	21 内服 薬剤 11 × 56 単位 224 22 屯服 薬剤 1 回 11 23 外用 薬剤 8 × 1 単位 8 25 処方 8 × 2 回 150 26 麻毒 回 27 調基 14
-------	---

30 注射	31 皮下筋肉内 回数 32 静脈内 回数 33 その他 1 回 85
-------	---

40 処置	薬剤 2 回 1,200 4
-------	-------------------

50 手麻酔	薬剤 回
--------	------

60 検病	薬剤 5 回 809
-------	------------

70 画像	薬剤 2 回 278
-------	------------

80 その他	処方箋 回
--------	-------

13 特	薬情手帳	147×1 13×2
21	アルファロールカプセル 1μg 1C アスパラ-CA錠200 4T フェロミア錠 50mg 2T	4×28 4×28
23	ミルタックスパップ30mg 10cm×14cm 30枚	54×1 (1日2枚)

25	特処2	66×1
----	-----	------

33	アルツ関節注25mg 1% 2.5mL 1A キシロカイン注射液 1% 2mL	85×1
----	--	------

40	絆創膏固定術 回 ミルタックスパップ30mg 10cm×14cm 2枚	700×1 4×1
	絆創膏固定術	500×1

60	骨塩定量検査(DEXA法による腰椎撮影) B-末梢血液一般、像(自動機械法) B-ナトリウム、クロール、カリウム、カルシウム Fe、クレアチニン、ALP、LD、総蛋白 尿酸、尿素窒素、葉酸	360×1 36×1 109×1 35×1 269×1
----	--	---

70	緊画 21日 18:50 右足デジタルX-P1回撮影 電画	110×1 168×1
----	----------------------------------	----------------

療養の給付	請求点	※ 決定点	一部負担金額 円
	3,294		
	点	※ 点	減額 制(円)免除・支払猶予 円
	点	※ 点	円 ※ 高額療養費 円 ※ 公費負担点数 点 ※ 公費負担点数 点